

平成 31 年度 科目名 ( 国語総合-2 )

1 対象年次、単位数、使用教科書

1～4年次 2単位 (必修) 教科書「新編国語総合」(東京書籍)

2 科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3 評価規準 (何を評価するか)

通信制課程での学習形態である「自学自習」は、学習への主体的な姿勢を自らのものとして維持し続けることに他ならない。それは高校卒業後、社会人・家庭人として生きていく上でも大切なことであろう。この観点から学習報告課題を作成している。レポート・試験を通じて、生徒の主体的・継続的な学習へのとりくみを重視し、基本的な事項の理解に加えて内容の発展的な問題 (文章作成) の到達度を評価する。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

主体的な学習への取り組みは一時的なものではなく、反復・継続することが求められる。そのため、試験を主資料とするが、レポートの評価およびスクーリングを考慮して総合的に行う。レポート・試験のいずれにおいて評価 2 以上を得、スクーリングにおいて規定時数を満たした場合に、2 単位を認定する。

5 試験範囲と試験による評価基準

R 1～R 3 の範囲で 7 月試験、R 4～R 6 の範囲で 1 月試験を実施する。

評価は 30 点以上を合格とする。

なお、29 点以下については再試験とし、その場合も 30 点以上を合格とする。

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングは生徒の質問に個別に対応することを基本とする。

スクーリングに取り組む姿勢を考慮し、学年末評価の参考資料とする。

R	項目	内容	教科書	時期
1	古文 説話 『宇治拾遺物語』より 「児のそら寝」	①歴史的仮名遣い・古語など古文の基本を理解させる。 ②主語を補いストーリーを正しく読み取らせる。何度も音読させ、古文のリズムに慣れさせる。	P246 ～ P252	5月 月上旬
2	古文 随筆 『徒然草』 「亀山殿の御池に」	①現代語訳・主人公の行動や心理を正確に読み取らせる。 ②筆者の考えを理解し時代を超えて読み続けられた価値を再確認させる。	P266 ～ P267	5月 月下旬
3	現代文 小説 『羅生門』 芥川龍之介	①登場人物の心理や人間存在の意味について理解を深めさせる。 ②人間のエゴイズムや内面の矛盾など自己を深く見つけ直す契機とさせる。	P80 ～ P94	6月 月中旬
4	漢文 漢詩 (唐詩) 『春暁』『贈汪倫』 『春夜喜雨』	①漢詩を音読・暗唱することをすすめ、優れた表現に親しませる。 ②漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を汲みとらせる。	P332 ～ P340	9月 月中旬
5	漢文 論語 『論語』より 「学問」「政治」	①孔子の思想を理解し人間の生や社会正義について現代を生きる自己を相対化して考えさせる。	P342 ～ P346	10月 月中旬
6	現代文 評論 『無彩の色』 港 千尋	①国語総合-1 の評論教材を発展させ文化、が人間の思考や感受性に強い影響を与えていることを読み取る。 ②身の回りの事例から自国の文化を正しく理解し、国際化社会に対応できる考えを身につけ、感受性を養う。	P48 ～ P55	11月 月中旬